

2025年度とうきょうすくわくプログラム
推進事業補助金活用

すくわくプログラム活動報告

幼稚園番号1923412

フィッシャー幼稚園

今年度は昨年度の園庭自然遊びのテーマを発展させ、3つのテーマでこどもたちの「すくすくわくわく」を応援してきました。

- テーマ1 わくわく冒険あそび
- テーマ2 すくすくリズムあそび
- テーマ3 わくわくおもちゃあそび

テーマ1 わくわく冒険あそび

テーマ設定理由と活動スケジュール

保育者の気づき、保護者からの声、園庭アドバイザーとの研修と保育環境見直しなど

昨年度の保護者向けすくわく報告会では「自然環境が整えられるだけでなく、もっと冒険的な遊び体験があっても良い」との声があった。「(砂場に)もっと山を作りたい」「虫探しをしたい」という子どもの声は以前からあったが、園の強みであるはずのツリーハウスでは子どもたちが昇り降りして遊ぶ姿はあまりないという振り返りが園内研修でもあがった。

そこで・・・昨年度テーマの園庭自然遊びを発展させつつ、日頃の砂場あそびや自然あそびの環境を整えるとともに、わくわくする冒険あそびを子どもたちの成長のエネルギーとするために以下を計画した。

☆砂場の整備・砂の補充と砂場セット購入

☆植栽コーナーの見直し、樹木剪定・風通し良くして(植木屋さんの助言) 抜け道作りなど

☆園庭西側の緑化、将来的には裸足で走り回れる環境を目指して

☆ツリーハウスをもっと楽しく「どんなツリーハウスだったら楽しいか考えよう」

☆出張プレーパーク・プレイリーダーとの冒険あそび体験

☆巧技台購入して室内冒険あそびの充実 など

活動内容

☆砂場あそび

砂の感触を楽しみながら、
可逆性のあるあそびの繰り返しから育つ創造性

子どもの声・問い：

「もっとでっかい山を作りたい」

「どうやる？」

環境デザイン：

砂を増やし、サンドアートセットで応援



☆植栽コーナー

子どもの声・問い：

「ダンゴむし、いる？」

「ちょうちょ、つかまえない！」

「バッタを手でつかまえられた！」

環境デザイン：

安全のための草木剪定

☆ダンゴむし探すと、

みんな同じポーズになる・・・



☆園庭西側の緑化 裸足で走り回れる地面にしたい

子どもの声・問い：

「どの草ならとっていいの？」

環境デザイン：

雑草の再利用

園庭西側の土壌改良、

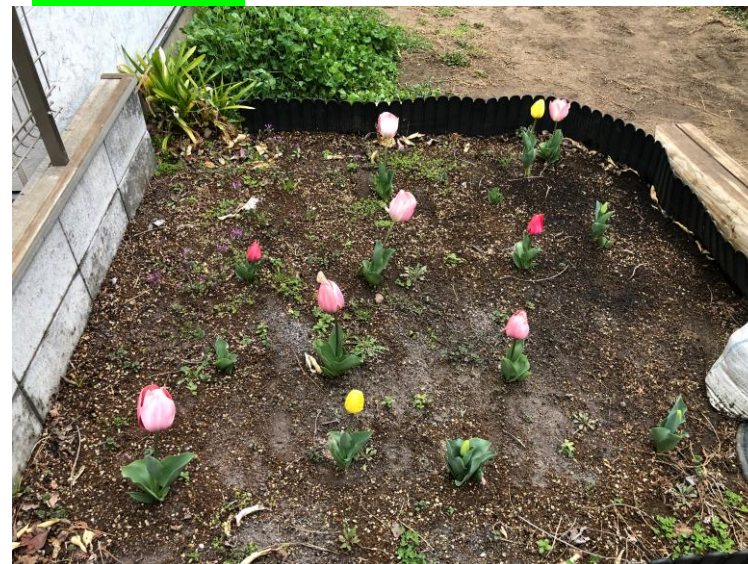
クローバーの種まき、

シードボール作り

(保護者からいただいた田んぼの土)



「ここは、
緑じゃなくて、
チューリップを
植える場所に
しよう」



☆ツリーハウスでのわくわく冒険あそび

子どもの問い：

「どんなツリーハウスだったら
もっと楽しいかな？」

⇒すみれ組が相談したツリーハウスを
絵にしてみると・・・



ツリーハウスのビフォー&アフター



実は・・・、
昇るより、
降りの方がむずかしい



☆出張プレーパークでわくわく体験あそび

マシュマロを焼いて



ロープに昇ったり

くるみの木にぶらさげた
木のブランコ



のこぎり使って



わくわく冒険あそびは室内でも⇒巧技台に裸足で乗って



わくわく冒険あそび 振り返り

子どもの姿から、保育者の気づき

○ちょっとあそびのハードルが上がると、仲間の姿をみながら、挑戦意欲が刺激されて、見様見真似でもやってみる・・・

大人はその意欲とスキル・体力がそろうのを**見守り、待つ**

○安全への配慮や遊具点検は必要だが、子どもが気づく前にいつも声をかけるだけでは子どもの意識はきっと育たない・・・。声かけのタイミングは個々の成長に合わせて。

テーマ2 すくすくリズムあそび

テーマ設定理由と活動スケジュール

教職員の研修経験、リズム大好き・ダンス大好き・動くの大好きな子どもの姿など

教職員の研修経験から、音楽リズムあそびを通して子どもたちの体幹がきたえられ、五感が豊かに整えられていくことを学びんだ。

また日頃からダンス・体操が大好きな子どもたちの姿が見られることから、音楽リズムあそびを継続的に実践することで、子どもたちの健やかな身体の成長と表現活動の向上を促し、子どもたちが遊びの中ですくすくと育つことを願って・・・

子どもの声・問い：

「音がきこえると、からだが動いちゃう」

保育者の問い：

からだ勝手に動くような心地よいリズム遊びに大切なことは？

環境デザイン：

まずは保育者が踊れるようにリズム研修⇒講師と一緒に、先生たちとも一緒におどろう！

環境デザインとして、リズム講師と共に



動物になるって、けっこうむずかしい

リズムだと手をつなぐのは楽しい

内側の島に外側の波が打ち寄せる
リズムあそび



すくすくリズムあそび 振り返り

子どもの姿から、保育者の気づき

○はだしで動くリズムあそびは一人でも、誰かと手をにぎっても、気持ちがいい

○汗をかいて、心臓がばくばくして、水がおいしい、ゼーンぶ健康の証

○リズム運動は脳の発達に良いというけれど・・・身体と脳と心つながっているし、
踊っているときのみんなの顔はいつも笑顔

テーマ3 わくわくおもちゃあそび

テーマ設定理由と活動スケジュール

プロのおもちゃ屋さんが作るカプラはすごいよ、つくるのもたのしいし、こわすのも・・・たのしい

大型積木遊びから小さなブロック遊びまで、イメージを形にし創意工夫して何かを作ったり、ゲームをしたりして遊びを展開する子どもたちの姿が日常的に見られている。

四季を通じて繰り返し広げられる昔ながらの遊びから最新の組立玩具まで、子どもたちが五感を用いて、かつ伝承的に仲間同士で繰り返し広げるおもちゃ遊びが豊かに展開されることで、子どもたちのわくわく感をさらに育てていきたい・・・

子どもの声・問い：

「これでなにつくる？」 「ぼくにもやらせて！」

環境デザイン：

たっぷりの積木おもちゃ・ユニークな積木を用意

ひとりでも、いっしょでも、笑顔で真剣



作った小積木（カプラ）をこわしときの音と快感



大工さんが残してくれた木片を大型パズルのように組み合わせて、
ままごとにご利用



わくわくおもちゃあそび 振り返り

子どもの姿から、保育者の気づき

- 既製品のおもちゃの使い方は限定されがち、
でも積木や粘土、折り紙はかたちをかえられるのがおもしろい、
木片も、葉っぱや花びらなど自然物もイメージしながら、みんなおもちゃの材料になる
- 既製品の良いところは、元通り箱に戻すだけで頭を使う試行錯誤が必要、
パズルは1ピースなくなるだけで完成できないから、ちょっとハラハラしてつなげていく
自然物の良いところは、惜しみなく使える

2026年度にやりたいこと

教職員は：引き続き、遊び環境・遊び用具の充実、
植栽コーナー周辺の緑化継続、
ツリーハウスの冒険ハウス化

園児と一緒に：植物の種まき、苗植え、成長を楽しむ

保護者の方にも：廃材・空き箱の寄付や
環境整備のお手伝いなど

